

(第3種郵便物認可)

デ

「社員成長企業に好循環」

デーリー東北政懇8月例会

日本レーザー 近藤社長が講演

デーリー東北政懇懇話会8月例会が19日、八戸プラザホテルで開かれた。レーザー機器輸入販売業の日本レーザー（東京）の近藤宣之社長が、「社員の成長は企業の成長」と題して講演。破綻寸前だった同社を立て直した経験を踏まえ、「社員にとって働くことは自己実現の舞台であり、企業を通じて成長する。その結果、企業そのものも成長し、良い循環となる」と述べ、社員のやる気を高める重要性を強調した。

近藤氏は1994年に親会社の日本電子から社長として出向。翌年に親会社の役職を辞して経営再建に専念し、バブル経済の崩壊で負った債務超過を2年で解

消した。2007年には親会社から独立した。

破綻する企業の共通要因について、「不振の原因を外部環境のせいにする。周りのせいにしては成長がない」と指摘。社長や役員の見聞社からの出向、人材育成により利益を追求する経営によって社員のやる気がそがれていたことから、独立



社員を大切にすることが企業の成長につながると訴える近藤宣之氏=19日、八戸プラザホテル

して「社員第一主義」を目指した経緯を説明した。

一方、「人は大切にすることが、甘やかしてはいけない」とも語り、人事制度に関して「透明性を高め、社員が納得できる仕組みが必要」と強調。具体例として、成果賞与を導入し、その仕事に関わった社員の話し合いによって分配していることや、職場のコミュニケーションを深めるため周りの社員について気付いたことを報告してもらおうなど、ユニークな取り組みも紹介した。

(金澤一能)